

「保育崩壊」を
引き起こす構造とは



保育の質とは何か

民間移管で子どもが
受けている影響は



京都市における
公営保育所の民営化

これらをテーマに

京都大学大学院人間・環境学研究科准教授・臨床心理士

大倉 得史 (おおくら とくし)さん

にお話しいただきます

○ 2017年

7/23 (日)

9:30 開場

10:00 開会～12:00 終了予定

練馬区立

会場

生涯学習センターホール

練馬区は区立保育園の運営業務委託計画を公表しました。

これまで60園あった区立保育園を20園業務委託した後、さらなる委託計画を公表したのです。

区は委託後も保育が変わることはないと言います。しかし、本当にそうでしょうか。委託では全ての職員が入れ替わってしまいます。このことは子どもたちにどう影響をあたえるのでしょうか。

さらに、この講演会で保育をめぐる状況や本来あるべき保育の質をどう考えるか。探っていきます。



<講師プロフィール>

大倉 得史 (おおくら とくし)さん 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授・臨床心理士

<略歴>

1998年京都大学総合人間学部卒業、2003年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了(博士 人間・環境学)。九州国際大学講師、同准教授を経て2009年より京都大学大学院人間・環境学研究科講師、2010年同准教授。臨床心理士。

<著書等>

拡散 diffusion — 「アイテンティティ」をめぐる、僕達は今 (ミネルヴァ書房)・語り合う質的心理学 一体験に寄り添う知を求めて (ナカニシヤ出版)・育てる者への発達心理学—関係発達論入門 (ナカニシヤ出版)・「語り合い」のアイテンティティ心理学 (京都大学学術出版会) 大学における発達障害者支援を考える (中川書店)

主催：公的保育を守る練馬連絡会 2017.7 会長：竜田修・連絡先：090-6309-4353